

NPO 自立支援センター ふるさとの会

2008.07.25
【第7号】



これはHTML形式のMAILです。オンラインで無い場合は画像が表示されない可能性があります。

HOME PAGE

SCHEDULE

EVENT

※ふるさとの会のメールマガジンをご愛読いただき、誠にありがとうございます。
今後もふるさとの会の活動内容を定期的に情報発信させていただきたいと存じます。
ご不要の場合はお手数ですがご返信くださいますようお願いいたします。

INDEX

- ①『紫のスターチス』地域生活支援センターすみだ園芸教室(アレンジメント)
- ② 東京都社会福祉協議会医療部会MSW ふるさとの会見学会のご報告
- ③ ふるさとの会職員研修 『地域共済会』
- ④ 善意銀行友の会第34回チャリティーショー参加報告
- ⑤ ふるさとの会シンポジウム2008 開催日決定！
- ⑤ 今月のボランティア—山谷夏まつり特集—

①『紫のスターチス』地域生活支援センターすみだ園芸教室(アレンジメント)

白いテーブルの上に紫のスターチス、赤のカーネーション、黄、エンジ、白の菊の花そして槿の木がドサリと置かれました。Tシャツ姿で頭に手ぬぐいを巻いた堀田先生は参加者の方々とおしゃべりをしながらもテキパキと準備を進めます。

センターすみだの花咲GPP(ハナサカジ〜ジ〜プロジェクト)については既にメルマガでご紹介済ですがその実際を覗いて来ました。さて第二週目の木曜日、この日はお花のアレンジメントでした。

「お盆も近い事ですから、今日はお盆の雰囲気ある花々で・・・」と、江渡職員がメニュー説明をします。この日は槿(ムクゲ)の木で花止め(コミ)を作り、活けるという作業を行いました(難しい！)。堀田先生は語ります。「正面から見て美しく、しかしながら背景を思わせる活け方がいいんです」うーん、「味わいある人、深みのある人と成れ」とでも訳しましょうか。

しばしその後、テーブルいっぱい力作の数々が並ぶと終了！自分でタイトルを付け一人ずつ発表します。当然ながらそのどれにも創意工夫と人柄が表われます。楚々とした花、すっきりした花、大胆な花・・・堀田先生はその作品一つ一つに「あ、これはですねグルーピングという生け方なんですね」などと、プロとしての見識と心使いをさりりと活けられた花々の上に見せてくださいます。

「毎回クラブの日が近づいてくると、ネタを出すのに苦労しますが、他のスタッフと共に出したアイデアを皆さんに楽しんでやってもらうと、とても嬉しく、苦労も報われます。」と、園芸クラブ担当のいつも元気な江渡職員からの一言です。

イベント、おしゃべり、相談ごと、いろんな方々がいろんな目的で来所するセンターすみだはこの日も職員は座る暇もなく誰かがどなたかの対応をしていました。イベントはしかり、しかしそれのみならずセンターすみだが多様なグルーピングの源となっていること、そしてその求心力の源はまさに人にあることを実感させられます。

花を活ける、元気な瑞々しい花々に触れる、切る、挿す、そして眺める。そのような時を持つことなく過ごしているこのところ、そして梅雨バテ気味の私は久しぶりに草花の持つエネルギーに五感を目覚めさせられた一時であり、また園芸クラブのメンバーの方々は毎木曜日の午後をどれほど楽しみにしているかと察せられた今回のセンターすみだ訪問でした。

(佐藤信子)



堀田先生のコメントの一言一言に花と人に対する優しさが感じられる



紫のスターチスと小菊



真剣な表情でアレンジメントに取り組む参加者

②東京都社会福祉協議会医療部会MSWふるさとの会の事業および山谷見学会のご報告

6月3日、社会福祉法人東京都社会福祉協議会医療部会MSW分科会より19名の医療ソーシャルワーカー(MSW)がふるさとの会の事業および山谷地域の見学に来られました。

東社協医療部会MSW分科会では、ホームレス地域生活移行支援事業の利用者に対する医療相談会を実施。ふるさとの会の地域生活支援センター「すみだ」においては毎月第3土曜日に、あそか病院、賛育会病院のMSWの方が中心となって医療相談を担ってくださっています。

今回の見学会は、日常的にはどうしても接点が遠くなりがちな東京都西部の病院で勤務されているMSWにもふるさとの会の事業、特に宿泊所・自立援助ホームを知っていただく良い機会となりました。この間、ふるさとの会で大きな課題となっている利用者の重篤化についても、直接支援の現場を見ていただき、意見交換を行ないました。MSW分科会の幹事である信愛病院の井上さんからは、「千束館にも要介護の利用者がいるとは。2年ほど前にもホテル三晃の見学をしたが、利用者の層が変わっていて驚いた」という感想を伺いました。

ふるさとの会の支援の現場を知っていただき、またMSWの方々と「顔の見える」関係性を築くことは、利用者の支援を行なう上での連携を円滑にします。社会的入院患者の地域での受け皿として、ふるさとの会運営の宿泊所・自立援助ホームが役割を果たしていくためにも、各病院との連携をより日常的なものにしていきたいと思えます。

(古木大介)



ふるさとの会3F会議室での意見交換



山友会での見学、幹事の井上氏と山友会油井氏

③ふるさとの会職員研修 『地域共済会』

6月の職員全体研修として、地域生活支援センター「すみだ」菅沼センター長による高齢などにより自立生活をするために支援を必要としている方々に向けての地域に根ざした共済会についての研修を本部3F研修室で行いました。

初めに、大阪西成区、「あいりん地区」と呼ばれているJR大阪環状線新今宮駅よりに位置する日本最大のよせ場で簡易宿泊所の集まる地区を含む地域の高齢者4000人ほどが加入している「西成くらし組合」が行っている地域くらしの共済について学習しました。

この共済組合では、一般世帯向けメニュー、生活保護世帯向けメニューなどそれぞれの生活形態や状態に

合わせたサービスの提供があり、生活保護世帯向けメニューでは、①水道代の一部補助②高齢者タクシーの無料乗車券の配布などを行っています。また、60、70才から受けられる年齢に応じたサービスもあり、70才メニューでは、①デイサービス、ホームヘルパー、訪問看護自己負担割引など高齢者にとってはうれしい割引を受けることができます。さらに、「お風呂カード」(入浴料割引)「誕生日検診」(健康診断)「くらし食堂」(健康安定食の提供)などさまざまな生活に沿ったサービスを提供しているとの事です。

ふるさと会としても、このような地域の人々や生活保護高齢者の生活の支援となるようなサービスを提供できるように「地域生活支援センターすみだ」が中心とした様々な今後の活動計画の報告を聞くことができました。地域との関わりを大切にされたプログラムとして園芸教室を開き向島百花園フラワーアレンジメントや地域花いっぱいプロジェクトの参加や映画上映会。医療相談員と連携し健康診断の実施や医療機関の協力を得ての生活予防週間教室の実施計画を進め、生活保護を切られてしまった方や簡易宿泊所へお住まいの方への健康弁当宅配サービスも計画しています。「誰にも価値あるものを提供していきたい」と考えています。後半は、この学習を受けグループ討議に入りました。話し合いでは、この研修内容を元にさらに地域の人々にとって日々の生活の中で生きて喜ばれる企画を考えたいと様々な提案が各自から出ました。そして、ひとつひとつ熱意あるユニークな企画が発表され、新たな可能性と夢を持って今回の研修を終わりました。(山形 章)



地域生活支援センター『すみだ』での園芸クラブの取り組みも合わせて報告

④東京善意銀行友の会第34回チャリティーショー参加報告

7月6日(日)、新宿三井ビル55ひろば野外ステージにて、恒例の東京善意銀行友の会主催のチャリティーショーが開催されました。今回で34回目となる歴史あるイベントです。

善意銀行友の会の方々には、ふるさと会が毎年行う越年まつりや夏まつりに司会や演芸など多大な協力をいただいているご縁もあり、依頼を得て音響機材の提供・準備・設営・進行のボランティアとして参加しております。今回で3回目の参加で、後援団体として、佐久間理事長があいさつをさせていただきました。

東京音頭の踊りのオープニングに始まり、唄、踊り、マジック、漫談と多彩な演芸が繰り広げられました。その他、出演者として、45人編成のブラスバンド「東京リサーチ合奏団」、モダンダンスの「ファニーズ」の華やかな舞踊が繰り広げられ、蒸し暑い気候の中、観て楽しみ、聴いて楽しめるイベントでした。

(馬場英夫)



『ファニーズ』の華やかなダンシングレビュー



『東京リサーチ合奏団』のポップな演奏



来賓挨拶として佐久間理事長が登壇

⑤ふるさとの会主催 2008年度シンポジウム 開催日決定

毎年10月に開催しておりますふるさとの会主催のシンポジウムの開催が以下のように決定いたしましたので、お知らせいたします。テーマ、パネラーなど内容を煮詰めて、より質の高いシンポジウムを目指しております。詳しいことは後日、メールマガジンやHPを通じてお知らせしてまいります。ご期待ください！

2008年度 シンポジウム「居住支援と地域ケア(仮)」

日 時:2008年10月13日(月・体育の日)13:30開演
会 場:墨田生涯学習センターユートリア

基調講演: 本田 徹 氏 浅草病院 医師
／NPO法人シェア=国際保健協力市民の会 代表理事
事例報告: 「自立支援センターふるさとの会の取り組み」
パネルディスカッション 「居住支援と地域ケア(仮)」パネラー 交渉中

⑤今月のボランティア—山谷夏まつり2008 特集

毎年お盆のころ、高野山別院のお坊さんにおいでいただき、無縁供養を行うとともに、山谷に理解のある芸能人の方々による演芸、バンドなどで、山谷の簡易旅館住まいの方々やホームレスの方々にも楽しいお盆のひと時を過ごしていただくイベント「山谷夏祭り」を開催しております。多くの皆さまのご支援・ご協力を得て、今年32回目を迎えるこの「まつり」にぜひご支援を賜りますよう、よろしく願い致します。

<山谷夏まつり2008 日時・活動時間・場所>

8月16日(土)・17日(日)17:00～20:00 玉姫公園
(JR/日比谷線南千住駅より徒歩12分)

ボランティア活動時間:9:00～21:00(時間参加あり)

<活動内容>

- 屋台料理の下ごしらえ ●屋台の売り子
- 舞台の裏方手伝い
- 路上生活者の方々へのお声かけ&交流など

<連絡先>

城北労働・福祉センター分館『敬老室』 TEL:03-3801-0377
(担当:町田/馬場)

メールアドレス:boranteahurusato@gmail.com

ふるさとの会HP:<http://www.d5.dion.ne.jp/~hurusato/>

この祭りは、純粋なボランティア運営のため、資金面・人材面で毎年苦勞しているというのが現状です。そこで、皆様のお心・御寄付・御協力をぜひともお願いいたします。

ご寄付振込み先

郵便振替口座 00260-5-63218 ふるさとの会



今年山谷で亡くなられた無縁さんを供養します



炊き出し、屋台の準備。ボランティアさんの腕の見せ所



年に一回の夏まつり。32回目と回を重ね、地域の方々も多数参加されるようになりました

【センターすみだ】

今月号でご紹介した「園芸クラブ」では引き続き、花の種、苗、培養土、植木鉢などの寄付を大募集しています。ご協力いただける方は、下記までご連絡くださいませ。

<連絡先>

地域生活支援センター『すみだ』 TEL:03-5819-3254

(園芸クラブ担当:江渡(えと))



発行元: 特定非営利活動法人 自立支援センターふるさとの会

〒111-0031 東京都台東区千束4-39-6

TEL:03-3876-8150 FAX:03-3876-7950

hurusato@d5.dion.ne.jp

HP : <http://www.d5.dion.ne.jp/~hurusato/>